

**大さん橋国際客船ターミナル等指定管理者評価委員会
平成20年度第3回委員会会議録概要**

- 1 日 時：平成20年11月10日（月）10：00～11：40
- 2 会 場：産業貿易センタービル 横浜市港湾局6階第一会議室
- 3 出席者：横内憲久委員、輿水 肇委員、嶋田昌子委員、見瀬賢悟委員、森本靖之委員

(決定事項)

- 1 総合評価については、委員の過半数の評価を総合評価とすることとした。
- 2 評価の講評については、別紙のとおり決定した。
- 3 評価委員会報告書は、12月上旬に委員会から港湾局長に報告し、委員会会議録とともに12月中に港湾局のホームページで公表します。

(議事)

- 1 センター長あいさつ
- 2 配布資料の説明
資料1 評価報告書（案）及び参考資料
資料2 第1回・第2回評価委員会会議録概要
- 3 議題
(1) 評価委員会の評価について
大項目・中項目ごとに委員の過半数の評価を総合評価とすることを事務局から説明。
原案のとおり了承。
(2) 評価委員会の講評について
[全体について質疑応答等]
委 員：評価報告書は、委員会から港湾局長あて提出するのか。
事務局：そうです。
委 員：配布資料の取扱はどうなるのか。
事務局：評価報告書及び議事録は公表になります。
委 員：指定管理者にどの程度の内容を伝えるのか。
事務局：委員の方々から戴いた多くの意見を伝えます。
委 員：委員の間で評価の開きが大きい項目があるが、思い違いがあるかもしれないので、この場で話し合い整合性を取る必要はないだろうか。
委 員：色々な見方があるので、評価が分かれたまま報告してもよいと思う。異なった意見があることを講評で表記すればよいと思う。
後者の意見で委員会を進めることになり、施設ごとに講評案を検討。

ア 大さん橋国際客船ターミナル
委 員：C評価がなく、講評は妥当と思われる。

(全員異議なし)

イ みなとみらいさん橋及び同付属旅客施設

[質疑応答等]

委員：「今後価値が高くなるような維持管理」とは、価値が出るような歴史を重ねるよう考えていくという意味合いだが、もう少しわかりやすい表現にしたらどうか。

事務局：了解しました。

ウ 臨港パーク

[質疑応答等]

委員：芝生は、人が入ることを前提とした場合、強い芝とか弱い芝とか芝の質を変えるとかできるのか。立入禁止にしないとだめなのか。

委員：芝生を使う頻度、芝の強さ等によります。

委員：都市公園は環境創造局が、港湾緑地は港湾局が管理しているが、相互アドバイスとかしているのか。

事務局：職員は両局とも造園職がおり異動もありますし、共通した考え方で対応しています。

委員：講評案の2番目だが、臨港パークがどのような位置付けにあるかという文言を入れたらどうか。芝生の管理については、「利用頻度が高い」という前提があるのだから「芝生の管理に一層努力する必要がある」ということになると思う。

事務局：了解しました。

委員：周辺住民の日常的な利用、花火大会のイベント利用、国際会議場の隣接した緑地など幅広い使われ方をしており、一番高いレベルに合わせるとなると覚悟を決めてやっていかざるを得ないと思う。現状は、国際的レベルから考えると十分に管理されていない状態だが、他の人がそれをどう受け止めるか、管理者がどう受け止めるか、覚悟の仕方だと思う。

事務局：立地の特性上国際的レベルの維持が必要になる一方、日常的な利用もあるという現状を認識して、今後指定管理者と調整していきたい。

委員：日常利用だからレベルが低くていいということではない。子供が利用するから除草剤等は使えない。だから国際水準を維持するのは大変なのだ。

委員：レベルの高いサッカー場の芝生は、管理費を生み出すためにコンサートを開催するが、非常に芝が傷むため、すぐに手数をかけて復旧作業をしている。やってできないことはない。やり方の問題だと思う。

委員：指定管理者と協定を結んでいると思うがそういう場合は、協定外の業務になるのか。高水準の作業となるとそれは土地を所管している港湾局で行うことになるのか。

事務局：大さん橋国際客船ターミナルは収益をあげメンテナンスに振り向けるなど手厚いサービスを実施しているので、そのようにしてもらえればと思います。

委員：例えば芝刈り回数を増やすなど協定の内容を変更することは可能か。

事務局：総額を増やすのは難しいが、経費の中でやり繰りするの考えられます。
21年度に向けて指定管理者と年度協定を締結するなかで、何か工夫できないか協議していきたい。

委員：こういう状況は経験しなくてはわからない。最初の指定管理者の宿命だと思う。試行錯誤があると思う。委員会の意見を指定管理者に伝えてほしい。

事務局：了解しました。

エ 国際交流ゾーン

[質疑応答等]

委員：評価の難しい施設であるが、講評は妥当と思われる。

(全員異議なし)

オ 日本丸メモリアルパーク

[質疑応答等]

委員：帆船日本丸とミュージアムという性格の違う施設を一体で評価するのは難しい。

委員：どこをリニューアルしているのかわからないので、具体的に施設名を入れた方がよい。

事務局：了解しました。

委員：日本丸に来た人がミュージアムに行かずに帰ってしまうようだが、ミュージアムは目立たない構造なので、アトラクションや案内誘導を考えた方がよい。

事務局：施設の魅力作りは市の仕事でもあり、現在行っているリニューアルの中で、検討しています。

(3) 報告書について

報告書(案)を取りまとめ、委員の方々に送付し確認していただく。

(4) 議事録について

議事録をとりまとめ、委員の方々に送付し確認していただく。

(5) 今後のスケジュールについて

ア 12月上旬に委員会から港湾局長に報告書提出。

イ 港湾局長から指定管理者に評価結果を通知。来年度の年度協定に反映していく。

ウ 12月中にホームページに公表。